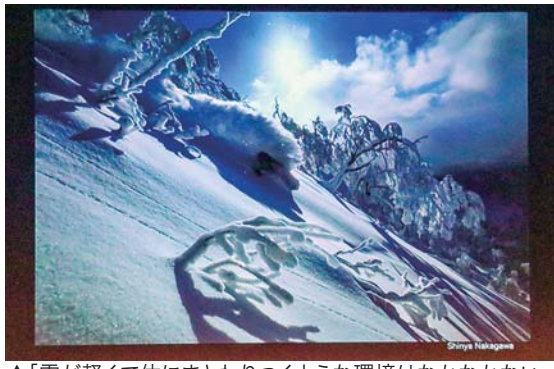


雪に恵まれた地、パウダーベルト



▲「雪が軽くて体にまとわりつくような環境はなかなかない」と佐藤氏

「神様が雪を降らせるために作ったような地形」で、世界の都市と比べて圧倒的に雪が多いことを解説。中でも東川(旭岳)カムイトマムなどを結ぶ「北海道パウダーベルト」は近年世界中で有名になっています。パウダーベルトの魅力を伝える写真集『HOKKAIDO POWDER BELT』(出版:エイチエス)では、窒息しそうなほど深い雪の中を滑走する様子や観光的な要素など、冬ならではのこの地の遊び方が紹介されています。ここに住む私たちが「世界一の雪」を楽しめない手はないでしょう!

本は新たな持ち主へ



昨年11月21日、せんとびゅあいで古本リサイクル市を行いました。せんとびゅあいはほんの森で使わなくなった本などを無料配布する恒例の催しです。今回はほんの森スタッフのほか、東川高校ボランティア部の3人にもお手伝いいただきました。来場した方は、自分の趣味に合う本や子どもたちの絵本など、会場にグルリと並んだ本を吟味し、気に入った本を見つけた様子。ある場所で役目を終えた本が、次に必要な方のもとへと渡っていくのは素敵なことですね。

自らの手で一本しめ縄を編む

昨年12月12日、せんとびゅあいで「初めての小さな手仕事講座」無農薬で作る牛蒡注連(ごぼうしめ)一本しめ縄づくり」が開催されました。



▲3束を1本に編み、下を切りそろえているところ。完成まであと少し!

の束は手前に捻りつつ(ヨる)ねじり合わせる)、3本の束同士は逆巻きで編みこんでいきます。「捻り」と「巻き」を逆回転にすることで、藁が元の形に戻ろうとする力が打ち消し合い、ほどけない状態に。接着剤も使わずに固定されるのはなかなか不思議...トチ結びでヒモを縛り、半紙で作ったシデ(白タレ)を差し込めば完成!親子で参加された方も多く、「昔はこうやってしゃべりながらみんなで作ってたのにな」と楽しみながら作業されていました。南さんが「みなさんに健康になっていただきたい」という思いで育てたお米の藁でできたしめ縄たち。これで新年を迎えれば、今年も1年元気で過ごせそうですね。

椅子は時代の技術を取り込む



昨年12月14日、せんとびゅあいでデザインスクール特別編⑥を開催しました。今回のテーマはチャールズ・イームズ(アメリカ)の「イージーチェアLCW」。LCWとはラウンジ・チェア・ウッドレッグの略で、「くつろげるスペースで使う木製の脚の椅子」を意味します。人体にフィットする座り心地の良さを再現するために、座面や背もたれの「三次元曲面」の開発に挑んだこの椅子は、成形合板で作られています。この技術は戦時中の40年代、脚を骨折した兵士を搬送するための添え木を作るために発案されました。その後、60年代までは「合板をいかにして人の体になじむようにデザインするか」を、世界中のデザイナーが競い、さまざまなアイデアが生まれました。イームズは新素材や新技術が開発されると、それらをデザインにうまく取り入れ、次々と画期的な椅子を発表していきましました。写真はLCM(Mはメタルフレーム)で、脚の部分がスチー

昨年11月13日、改善センターにて「パウダーベルトトークショー」が開催されました(主催:同実行委員会、協力:東川町(未来チャレンジ補助金))。プロスキーヤーの児玉毅さん、フォトグラファーの佐藤圭さん、町内在住のプロスキーボーダー・中川伸也さんの3名が、この地の「雪」がいかに素晴らしいかを紹介。「コロナ禍で海外遠征できない間、自然の中で遊ぶ時間が増えた」と児玉さん。いろいろな国を見てきたからこそ北海道の魅力が表現できることに気づき、子どもたちにより充実した冬の過ごし方を伝える「雪育」を始めたそうです。日本は「寒さ・湿気・風・山」がそろ

った2人が少年野球の全国大会に出場することを報告しに、松岡町長らを表敬訪問しました。2人は11月13日に行われた北海道選抜セレクションで、道内から集まった実力ある130人の中から見事代表に選抜。12月18日からの「第18回西日本選抜学童軟式野球倉敷大会」に出場することとなりました。同少年団を率いる小林弘明監督(東川小教諭)も選抜チームのコーチとして抜擢され、2人と共に全国の舞台で戦います。奥住さんは「レギュラーをとってバッテリーでピッチャーを援護し優勝したい」、寺山さんは「レギュラーのキャッチャーになって盗塁するランナーを刺し、ピッチャーを牽制してあげたい」と、選抜メンバーの合同練習でも自信を得ている様子。この記事が読まれる頃には結果が出ているので、次号で笑顔の報告をお届けできることを期待しています!



技能五輪とは青年技能士を育成する大会で、23歳以下の若者が技能を競います。家具部門は図面で示された家具を時間内に作る競技で、全国から24名が出場。若手の

技能五輪全国大会出場、佐藤晴南さん

昨年12月7日、TIME&STYLE(北町4)の家具職人・佐藤晴南さんが、第59回技能五輪の北海道大会を予選2位で通過し、全国大会(同月18~20日、東京ビックサイト)へ出場することを報告しに松岡町長らを表敬訪問しました。

社協だより

温かい善意ありがとうございます
11月16日から12月15日に社会福祉事業にご寄付をいただいた方は次のとおりです。
《香典の返礼にかえて》
13南 麻下真博様
27東雲 田村登様
紙谷正己様

12月の相談

日々の生活で困っていること、悩みごとをお気軽に相談ください。秘密は守られます。事前にご連絡ください。(☎82-7505、随時受付)
【今月の相談員】
馬場 猛

各種大会成績

【サッカー】 ◆JFA第27回全日本U-15フットサル選手権大会北海道大会(12月4日~・芽室町総合体育館) ▼(優勝)コンサドーレ旭川 →全国大会に進出(1月、三重県)
【剣道】 ◆第48回上川管内町村剣道大会(11月23日・比布町体育館) ▼小学生低学年の部(3位)東川剣道少年団 ▼小学生高学年の部(優勝)同上

【バレーボール】 ◆第41回道新カップ北海道小学生バレーボール大会旭川地区予選会(10月30日~・東川小学校ほか) ▼女子の部(3位)ひがしかわバレー少年団



▲下段左から廣川みはな、藤橋実叶、菊永美智、佐々木寛奈、塚原帆乃(いずれも小学6年生)、上段左から井野瑠月、鮎澤穂華、土屋紘、川合幸恵(いずれも5年生)、寺山はるね(4年生)

東川ワイン キトウシ2020販売中!
2020年東川産のブドウ(セイベル)で作られた赤ワインです。道草館をはじめ、町内各店で昨年12月1日から販売中!(税込2,500円)



▲下段左から低学年:逢坂陽大・石川圭人・大橋智紀・大岩遊叶・平田麻陽、上段左から高学年:平田伶央・川森幹太・倉内耀大・吉田陽和・土佐楓羽織